

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 28 年 9 月 23 日 (2016.9.23)

【公表番号】特表 2016-519491 (P2016-519491A)
 【公表日】平成 28 年 6 月 30 日 (2016.6.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-039
 【出願番号】特願 2016-505369 (P2016-505369)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 74/08 (2009.01)
 H 0 4 W 84/12 (2009.01)
 H 0 4 W 52/02 (2009.01)
 H 0 4 W 28/06 (2009.01)
 H 0 4 W 16/28 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 W 74/08
 H 0 4 W 84/12
 H 0 4 W 52/02 1 1 1
 H 0 4 W 28/06 1 1 0
 H 0 4 W 16/28 1 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 8 月 2 日 (2016.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信システムにおいて MU (m u l t i u s e r) グループの STA でチャネルアクセスを行う方法であって、前記方法は、

一つ以上のスロット割当フィールドと、前記一つ以上のスロット割当フィールドが前記 MU グループに対する少なくとも一つの MU グループスロット割当フィールドを含むか否かを示すグループ指示子フィールドとを含む、リソース割当フレームを受信することと、

前記リソース割当フレームに含まれたグループ指示子フィールドを確認することと
 を含み、

前記グループ指示子フィールドが、前記リソース割当フレームに前記少なくとも一つの MU グループスロット割当フィールドが存在することを示す場合、前記少なくとも一つの MU グループスロット割当フィールドの最初のビットは、EOM (e n d o f M U) 指示子に設定され、前記 STA は、前記 EMO 指示子に設定された前記最初のビットを用いることによって、前記少なくとも一つの MU グループスロット割当フィールドが前記 STA のグループ識別子 (G I D) との比較に用いられると決定する、方法。

【請求項 2】

前記グループ指示子フィールドが、前記リソース割当フレームに前記少なくとも一つの MU グループスロット割当フィールドが存在することを示す場合、

特定の MU グループスロット割当フィールドの最初のビットを確認することと、

前記最初のビットに対応するサブフィールドの次のサブフィールドを前記 STA の G I D と比較することと

をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記次のサブフィールドが前記 S T A の G I D に対応する場合、
前記特定の M U グループスロット割当フィールドの最後のサブフィールドから媒体アクセスの開始時期を獲得することと、
前記媒体アクセスの開始時期で競合後に P S - P o l l (p o w e r s a v e - p o l l) フレームを送信することと
をさらに含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記次のサブフィールドが前記 S T A の G I D に対応しない場合、および、前記最初のビットが、前記特定の M U グループスロット割当フィールドが最後の M U グループスロット割当フィールドであることを示す場合、前記 G I D との比較は、前記特定の割当フィールド以降に終了する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記次のサブフィールドが前記 S T A の G I D に対応しない場合、および、前記最初のビットが、前記特定の M U グループスロット割当フィールドが最後の M U グループスロット割当フィールドでないことを示す場合、前記 S T A は、前記特定のスロット割当フィールドの次の別の M U グループスロット割当フィールドの二番目のサブフィールドを前記 S T A の G I D と比較する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記少なくとも一つの M U グループスロット割当フィールドは、前記リソース割当フレームに含まれた前記一つ以上のスロット割当フィールドの開始部分において最初に位置する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記グループ指示子フィールドが、前記リソース割当フレームに前記少なくとも一つの M U グループスロット割当フィールドが存在しないことを示す場合、前記 S T A は、前記 G I D との比較を行わない、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記少なくとも一つのスロット割当フィールドの全ては、個別 S T A のためのスロット割当フィールドである、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記グループ指示子フィールドが、前記リソース割当フレームに前記少なくとも一つの M U グループスロット割当フィールドが存在することを示す場合、前記リソース割当フレームは、前記少なくとも一つの M U グループスロット割当フィールドと、個別 S T A のための 0 個以上のスロット割当フィールドとの両方を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記グループ指示子フィールドが、前記リソース割当フレームに前記少なくとも一つの M U グループスロット割当フィールドが存在しないことを示す場合、前記リソース割当フレームは、各 S T A のための個別スロット割当フィールドのみを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

無線通信システムにおいてチャネルアクセスを行う M U (m u l t i u s e r) グループのステーション (S T A) であって、前記 S T A は、一つ以上のスロット割当フィールドと、前記一つ以上のスロット割当フィールドが前記 M U グループに対する少なくとも一つの M U グループスロット割当フィールドを含むか否かを示すグループ指示子フィールドとを含む、リソース割当フレームを受信するように構成された送受信器モジュールと、
前記リソース割当フレームに含まれた前記グループ指示子フィールドを確認するように構成されたプロセッサと
を備え、
前記グループ指示子フィールドが、前記リソース割当フレームに前記少なくとも一つの

M U グループスロット割当フィールドが存在することを示す場合、前記少なくとも一つの M U グループスロット割当フィールドの最初のビットは、E O M (e n d o f M U) 指示子に設定され、前記プロセッサは、前記 E M O 指示子に設定された前記最初のビットを用いることによって、前記少なくとも一つの M U グループスロット割当フィールドが前記 S T A のグループ識別子 (G I D) との比較に用いられると決定するように構成されている、S T A。

【請求項 1 2】

前記 S T A は、請求項 2 乃至 1 0 のいずれかに記載の方法を行うように構成されている、請求項 1 1 に記載の S T A。